

# 高校サッカー 尚志 3年ぶり全国へ

## 富岡に。パス回しで主導権

### 5-0

第93回全国高校サッカー選手権大会の決勝が1日、郡山市の西部サッカー場であり、尚志が富岡を5-0で下し3年ぶり6回目の優勝を果たした。尚志は12月30日に駒沢陸上競技場（東京都）で開幕する全国大会に、県代表として出場する。



尚志-富岡 後半14分、尚志のFW林◎がコーナーキックからヘディングシュートを決め3点目。GK加藤-西部サッカー場

雨で滑る芝生を気にも留めないパス回しで相手を走らせ、守備のほころびを突く。そんな狙いがはまり、尚志が昨年の決勝で敗れた富岡を圧倒した。

準決勝まで3試合で計10得点の尚志と、3戦連続1-0で勝ち進んだ富岡。決勝でも、それぞれのカラーがぶつかり合う。富岡は守備的な布陣で、奪ったボー

### 先発復帰 山城主将 気迫で先制点呼び込む

大一番で先発復帰したDF山城廉主将（3年）の気迫が全国への扉を開いた。前半19分。フリーキックからの混戦に飛び込むと、右足を投げ出す。ボールは最後、相手選手に当たってゴールラインを割り、チームを勢いづける先制点となった。

その右足は、8月の練習中に小指近くを疲労骨折していた。「痛みは消えた」という今もボルトが入ったままだ。主将を任せられな

▽決勝  
尚志 5 (1-0-0) 富岡  
ルは簡単に速攻へ。序盤、立て続けにゴール前に迫られた尚志も、ピッチを広く使ってボールを動かし少しずつ主導権を握っていく。

前半19分、尚志はMF佐藤凌（2年）のフリーキックがオウンゴールを誘い先制。後半11分には、縦パスを受けたFW林（3年）が2点目。3分後のコーナーキックでも林が決めると、富岡の隙を逃さず次々と得点を重ねていった。

試合後、仲村浩二監督は「全国制覇を狙えるチーム。パスサッカーを最後まで貫きたい」と話した。

ら、今大会は準決勝で後半に途中出場しただけ。「仲間がここまで連れてきてくれた。悔しさと、期待に応えたい思いがあった」

本職の守備でも、声を張り上げて指示を飛ばし、無失点に貢献した。

「久しぶりの先発でも緊張はピッチに立てば消えていた。目標は全国制覇。やっ」とスタートラインです。仲間とともに、自分の足で晴れ舞台に上られる。自然と声ははずんだ。（佐藤啓介）